

主 日 礼 拜

パウロの祈り②

特別賛美 サインダンス with 荒谷ルカ姉

献 金 聖歌514番 ～イエスあなたの名は～

祝 禱 [献金当番：渡辺姉・寺澤千姉]

お知らせ

賛 美 ～明るく・元気で・のびのびと～

礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

1. 本日昼食後1時～、聖書の学び会が行われます。共に聖書を学びましょう！
2. 今週の祈禱会は、☆早天祈禱会:月曜朝6時。☆木曜祈禱会:①午前10時半、②夜7時半。大川従道牧師(大和祈禱会映像)。☆準備祈禱会:土曜夜8時。
3. 来週の日曜礼拝では聖餐式(大切に！)。午後は執事会を行います(昼食なし)。

9/15(日):聖歌隊 16(月):千曲市バイブルスタディ(13時)

19(木):大手家庭集会 22(日):敬老祝福礼拝&祝賀会 26(木):WOGA

[illegible]

「闘いの備えをせよ！」

～私たちは祈りで闘う！神の武具をしっかりつけて！～

「最後に言いたいことは、次のことである。主を信じ、その大能の力によって強くしていただきたい。悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神の用意してくださる武具をすべて身に着けなさい。私たちクリスチャンが戦わなければならない相手は人間ではなく、超自然の存在である悪魔と悪霊どもの大勢力である。だから、試みの日に際して、悪魔や悪霊どもに抗し、勝利を収めることができるために、神の武具を取りなさい。」エペソ人への手紙6章10－13節〔現代訳〕

パウロは霊的な闘いを意識していました。それは、天上にいる無数の悪霊どもとの闘いです。私たちはその世界をどのようにイメージしたらよいのか困ってしまいますが、実際に私たち信仰者が闘っている相手は、そういう世界の存在と闘っているのだということです。だから、そのために必要な闘いの武器は、この世で闘う時に使うようなものではなく、「真理」、「正義」、「平和の福音」、「信仰」、「救い—洗礼」、「神の御言葉」であり、これらはワンセットになっていて、そのすべてを身に着けないと意味がないというものです。また、一人だけの闘いではなく、「あなたがた」とか「わたしたち」という共に闘っているという状況です。そして、その前提として、「全能の神様の全能(might力)の力(power力)によって強くなりなさい(be strong)！」力ということば、強くさせられるということばが3つも使われています。そして、その力は全能の神様からいただくものであるということ。私たちは力ある神様から豊かに力を与えられなければ決して闘うことはできませんし、勝利することもできません。しかし、その豊かな力によって、不思議な力をいただいて、偉大な勝利を手にすることができると聖書は語っています。

私たちは世の人には決して想像もできないようなスケールの大きな闘いに立ち向かうことができ、その闘いに大いなる力を持って勝利することができる存在であるのだ！とパウロは宣言しています。その世界は祈りによって開かれていくのです。

「神の将軍」と呼ばれ20世紀前半に用いられた癒しの器、ジョン・G・レイクの証。
「神はみこころの時に私を南アフリカへと召されました。私はそこで、おそらく使徒時代以来、世界の人たちが見たことのないほどの、大いなる神の癒しが現われたのを目撃しました。／クリスチャンたちは聖霊のバプテスマを受け、神の偉大な力に満たされて出て行き、イエスの御名を宣言し、病人に手をおきました。すると、病人は癒されたのです。神を信じていない人たちは、神の御力が現われるのを目の当たりにして、喜びの声を上げ、神に仕える生活をするようになりました。／それはまるでイエスの時代のようなものでした。『その町に大きな喜びが起こった』(使徒8:8)のです。そして、さらにその国にも喜びが及んだのです。」 今も主は生きて私たちを通して働かれます！信仰に堅く立ちましょう！